
	<h1>学校だより</h1> 	令和3年2月26日 横浜市立大曾根小学校 TEL 542-1785 FAX 541-0949
---	---	---

## 自分たちにできること

学校長 丹波 悟亮

「私たちにできることをして卒業したい。」

以前のような噴水の出る池にしたいという思いから、6年生が池の大掃除をしてくれました。生き物を救出してから水を抜き、汚いごみや泥をかき出しました。きれいな水に魚たちが気持ちよさそうに泳いでいます。



大曾根小学校のテーマ曲、校歌と同じようにみんなに歌ってもらえる曲を作りたい。歌詞もメロディーも6年生が考え、いろいろな場面で、みんなが歌える曲を作成しています。

学校をきれいに掃除したいという思いから、普段はなかなかできない場所や汚れの目立つところをきれいにしてくれています。きれいになる校舎内はとてすがすがしい気持ちにさせてくれます。

毎朝、校門のところに立って登校してくる下級生に笑顔で、あいさつをしていました。

6年間の小学校生活を振り返り、卒業生として自分たちにできることをやろうという思いが、子どもたちを突き動かしています。小学校生活のまとめ、卒業に向けて、6年生は一生懸命取り組んでいます。

「コロナの影響で暗くなりがちな気持ちに明るく灯をともしたい。」

「お世話になった人や地域の人に感謝の気持ちを伝えたい。」



3年生のあるクラスでは、豆電球の学習をした経験を生かしてオリジナル灯籠をつくって地域に配りたいと計画をしています。灯籠の作り方、手順や必要な材料を調べて、費用はどのくらいかも計算していました。誰に灯籠を渡すのか、どのように渡すのか、自分たちの気持ちをどう伝えるかも考えていました。

そのほかにも、児童一人一人が自分たちの思いからスタートして、教科書にはない、自分たちの学びの実現を行っています。コロナ禍でも、自分たちにできることをやる。コロナ禍だからこそ、できることをやる。そんな気持ちが伝わってきます。主体的に取り組むことで、児童の目の色が変わります。真剣なまなざし、最後まで探求しようとする意欲がきらりと輝きます。今まで学んできたことを生かして表現する力に変える。この一年、そんな場面を多く見ることができました。自己肯定感を高め、大曾根表現力がしっかりと子どもたちに息づいていることを実感します。